



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月13日

東

上場会社名 株式会社フェイスネットワーク

上場取引所

コード番号 3489

URL <http://faithnetwork.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)蜂谷 二郎

問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員経理部長

(氏名)佐野 宏江

(TEL)03(6432)9937

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,721	38.7	△92	—	△151	—	△106	—
2019年3月期第1四半期	1,240	—	△99	—	△149	—	△93	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△21.33	—
2019年3月期第1四半期	△18.82	—

(注) 当社は、2018年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,458	3,571	24.7
2019年3月期	13,933	3,826	27.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,571百万円 2019年3月期 3,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	13.0	1,300	28.3	1,050	28.5	720	12.8	144.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,980,000株	2019年3月期	4,980,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	一株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,980,000株	2019年3月期1Q	4,980,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による各種経済・金融緩和策を背景として、雇用・所得環境は着実に改善、企業収益は高い水準で底堅く推移しております。また、輸出・生産は弱含んでいるものの、景気は緩やかに回復しております。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の不確実性などを背景として、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する不動産業界におきましては、2019年上半期の首都圏マンションの供給は13.3%減の1万3,436戸となりました。地価の上昇や建設コストの高止まりの影響、都心部の物件の人気により、平均価格は2.9%上昇の6,137万円、平米単価は3.7%上昇の90.7万円と平均価格、平米単価のいずれも上昇という状況となりました（(株)不動産経済研究所調べ）。

このような状況の中、当社は城南3区を中心に、新築一棟マンションGranDuoシリーズ及び中古一棟ビルリノベーションGrandStoryシリーズの企画開発及び販売の拡大、不動産小口化商品事業の開始、ワンストップサービス体制の充実、さらにブランド力の強化を図ってまいりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、不動産商品2件、建築商品1件を販売いたしました。一方、規模拡大に伴う人員増加のため、人件費等の販売費及び一般管理費を計上したことにより、売上高1,721,174千円（前年同期比38.7%増）、営業損失92,903千円（前年同期は99,140千円の損失）、経常損失151,778千円（前年同期は149,100千円の損失）、四半期純損失106,228千円（前年同期は93,739千円の損失）となりました。なお、当社の経営成績は不動産業の性質上、賃貸需要が活発化する第3四半期会計期間及び第4四半期会計期間に売上高が大きくなる傾向にあります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①不動産投資支援事業

不動産投資支援事業につきましては、不動産商品2件、建築商品1件を販売いたしました。一方、規模拡大に伴う人員増加のため、人件費等の販売費及び一般管理費を計上したことにより、売上高1,569,662千円（前年同期比40.5%増）、セグメント損失130,702千円（前年同期は122,747千円の損失）となりました。

②不動産マネジメント事業

不動産マネジメント事業につきましては、お客様の所有する不動産の管理運営受託件数増加に伴い、売上高151,512千円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益37,799千円（前年同期比60.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は、前事業年度末に比べ525,275千円増加し、14,458,689千円となりました。その要因は、主に販売用不動産が1,227,555千円、仕掛販売用不動産が794,518千円、完成工事未収入金が265,635千円増加し、現金及び預金が1,895,860千円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ780,253千円増加し、10,887,237千円となりました。その要因は、主に借入金が増加し、1,029,323千円増加し、工事未払金が86,527千円、未払法人税等が129,831千円及び賞与引当金が54,459千円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ254,977千円減少し、3,571,452千円となりました。その要因は、主に繰越利益剰余金が四半期純損失により106,228千円、剰余金の配当により149,400千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,747,573	851,713
完成工事未収入金	356,883	622,519
販売用不動産	1,824,540	3,052,095
仕掛販売用不動産	6,612,517	7,407,036
前渡金	278,829	339,525
その他	24,664	86,461
流動資産合計	11,845,009	12,359,352
固定資産		
有形固定資産		
建物	799,713	800,193
構築物	1,456	1,706
機械及び装置	61,614	61,614
車両運搬具	18,455	18,455
工具、器具及び備品	43,946	43,946
土地	1,166,011	1,166,011
減価償却累計額	△131,247	△143,145
有形固定資産合計	1,959,949	1,948,782
無形固定資産	7,723	7,341
投資その他の資産	120,731	143,213
固定資産合計	2,088,404	2,099,337
資産合計	13,933,413	14,458,689

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	615,564	529,037
短期借入金	1,261,400	2,064,400
1年内返済予定の長期借入金	2,252,077	2,178,074
1年内償還予定の社債	53,400	53,400
未払金	84,892	54,963
未払法人税等	132,126	2,294
前受金	91	298
未成工事受入金	332,728	301,819
預り金	199,908	217,189
賞与引当金	108,917	54,457
アフターコスト引当金	6,159	8,282
その他	36,708	100,461
流動負債合計	5,083,975	5,564,679
固定負債		
社債	79,900	79,900
長期借入金	4,911,227	5,211,553
その他	31,881	31,104
固定負債合計	5,023,008	5,322,558
負債合計	10,106,984	10,887,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,120	681,120
資本剰余金		
資本準備金	631,120	631,120
その他資本剰余金	220	220
資本剰余金合計	631,340	631,340
利益剰余金		
利益準備金	10,000	10,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	13,782	12,511
繰越利益剰余金	2,496,990	2,242,632
利益剰余金合計	2,520,772	2,265,143
株主資本合計	3,833,232	3,577,603
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△6,802	△6,151
評価・換算差額等合計	△6,802	△6,151
純資産合計	3,826,429	3,571,452
負債純資産合計	13,933,413	14,458,689

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,240,850	1,721,174
売上原価	996,765	1,461,012
売上総利益	244,085	260,161
販売費及び一般管理費	343,225	353,064
営業損失(△)	△99,140	△92,903
営業外収益		
自動販売機収入	62	68
保険金収入	—	1,569
その他	87	497
営業外収益合計	149	2,134
営業外費用		
支払利息	38,435	35,122
支払手数料	2,879	20,116
その他	8,795	5,770
営業外費用合計	50,109	61,009
経常損失(△)	△149,100	△151,778
税引前四半期純損失(△)	△149,100	△151,778
法人税、住民税及び事業税	645	572
法人税等調整額	△56,006	△46,122
法人税等合計	△55,361	△45,549
四半期純損失(△)	△93,739	△106,228

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,117,110	123,740	1,240,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,117,110	123,740	1,240,850
セグメント利益又は損失(△)	△122,747	23,606	△99,140

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,569,662	151,512	1,721,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,569,662	151,512	1,721,174
セグメント利益又は損失(△)	△130,702	37,799	△92,903

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。